

2018年8月17日付 掲載

Tranzaxの受注担保融資

信保協の保証対象に

近く大手地域銀も導入

フィンテックベンチャーのTranzax（東京都、小倉隆志社長）が提供する受注担保融資「POファイナンス」が、8月10日から全国の信用保証協会の「流動資産担保融資

保証制度（ABL保証）で取り扱いできるようにになった。

POファイナンスは

企業が発注先から受注を受けた段階で、その受発注を電債化。これを担保に金融機関が融資を実行する新たな電子記録債権担保融資。

中小企業庁の委託事業

で実証実験を進めてきた。7月から西武信用金庫と城南信用金庫が取り扱いを始めた。

近々、複数の大手地域銀行や大阪シティ信用金庫など多数金融機関が導入を予定している。信保協の保証対象になり、導入が広がりそうだ。